



# 北山田小だより

横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

心をひとつに、再スタートを

～笑顔いっぱい みんなかがやく学校に～

校長 滝川 尚美

コロナウイルスの感染拡大が、多くの人々の努力によって少しずつ収まり、政府により緊急事態宣言が解除されました。ただ、この感染症については、いまだ不明な点が多く、国内外の感染状況を見据えると、私たちは、長期間この新たな感染症とともに社会で生きていかなければならないとのことでした。コロナウイルスは人と人との間に距離をつくります。しかし、この歴史に残る大きな事態を人との心の距離を広げずに、人とつながりながら乗り越えていくことは、未来を生きるための大きな力になると思います。

本校も本日 6 月 1 日から学校を再開しました。わたしたち教職員は、子どもたちとの学校生活の再開を心待ちにしていました。今日の出会いに幸せを感じています。しかし、子どもたちにとっては、2 か月ぶりの学校生活です。喜びを感じつつも、集団での生活や学習への不安を抱えている子どもも多いのではないかと思います。学校は、子どもたちが安心して過ごせるように、その気持ちに寄り添い、子どもとしっかりつながり、そして、子どもたち同士をつなげていくための方策を練っています。先が見えない中でも、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を明確にし、子どもたちが「笑顔いっぱいに、みんなかがやく」ことのできるように本当に必要な活動を見極め、工夫して実施していきたいと考えています。

また、学校における感染対策として、横浜市教育委員会による「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に基づき、「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いの確実な実施」など基本的な対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、主に次のような配慮をしながら教育活動を実施します。日々の状況を見極めながら、教育活動を継続させ、子どもたちの健やかな学びを保障できるよう努めてまいります。今後ともどうぞご理解とご協力をよろしくお願いたします。

- 「健康観察票」を用いた毎日の検温・健康観察を行うこと。
- 児童に風邪の症状や息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状が見られる場合は自宅での休養とすること。  
※欠席には含まれません。
- マスクの着用、十分な換気、手あらいを徹底すること。  
※マスク・ハンカチ・マスクを入れる袋・マスクの予備(ランドセルのポケットに入れておいてください)を必ず持たせてください。
- 教室やトイレ等、児童が利用する場所のうち、特に児童が手を触れる場所は、1日1回の消毒を教職員が行うこと。
- 図書・遊具など共有を避けることが難しいものを利用した場合は、使用後の手洗いを徹底すること。
- 授業時数の確保を優先する中で、学校行事のねらいを改めて確認し精選するなど、教育課程の編成を行うこと。
- 学校生活場面や教科指導場面において感染症対策及び集団感染へのリスク対応を行うこと。
- 児童の人権や個人情報に配慮すること。

## ○児童支援専任より～安心して学校生活をスタートするために～

今年度より児童支援専任となりました鹿又守雄です。北山田小学校では、子どもたちが、安心して学校生活をスタートできるように『学校再開スタートプログラム』を実施し、「チーム北山田」で子ども達を支援していきます。具体的には、

- ・子どもの様子を「見る」、子どもの思いを「聞く」、人との関係を「つなぐ」授業をします。
- ・前年度の未履修の内容や課題で学習した内容について、学習の定着が図れるように振り返りながら指導します。
- ・感染症について正しく理解ができるように、子どもの気持ちを受け止めながら指導を進めます。
- ・児童へのアンケートを実施し、学年に応じた方法で担任との面談を行います。
- ・6月に保護者との面談をします。お子さんの様子を伺いながら、よりよい支援の方法を考えます。